

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko

青森県八戸市出身 国際文化研究専攻修了 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』

e-mail: leoshironeko@yahoo.co.jp



この号の内容

- 1 イタリア ミラノ万博のテーマは「地球に食料を、生命にエネルギーを」
- 2 EU 支部だより
—大阪万博—

- ・ミラノ万博
- ・食
- ・観光

イタリア ミラノ万博のテーマは「地球に食糧を、生命にエネルギーを」

博覧会会場は、一部ロー (Rho) 市も含むミラノ北西部に位置し、面積は150万㎡以上。ロンバルディア州のリナーテ (Linate)、マルペンサ (Malpensa)、オリオ・アル・セリオ (Orio al Serio)、ベルガモ (Bergamo) いずれの空港からもアクセスのよい場所にあります。この博覧会もまた世界的関心をひくテーマ、"地球に食料を、生命にエネルギーを"を掲げています。世界の異なる地域での食料不足の問題、食育の問題、遺伝子組換え物質といったテーマにいたるまで、食料に関する全てを含んだ広いテーマを扱っています。Expo 開催期間の6カ月で、1日平均13万人、延べ2000万人の観光客を見込んでいます。万博会場には 11平方キロメートルにおよぶ緑地が造成され、139の国が出展予定です。万博開催期間の6カ月で6000にもおよぶイベントを開催する予定です。

世界中から来訪者を呼び寄せる博覧会の魅力もさることながら、ミラノとミラノ県にある沢山の魅力的な場所を訪れることでさらに豊かな体験ができるでしょう。例えば万博会場の近くに、グロアーネ公園 (Parco delle Groane)、WWFに指定されたヴァンザーゴ (Vanzago) 自然保護区、スッド公園 (Parco Sud)、フォンタニリ公園 (Parco dei Fontanili) など多くの都市公園があります。自然愛好家にとってはこの情報はとても重要です。また他にも、カーヴェ公園 (Parco delle cave)、トレンノとモンテ・ステッラ公園 (Parco di Trenno e Monte Stella) などもあります。一方、文化的な楽しみ方には、貴重な建築作品群の探訪があげられます。ミラノ県には数多くの歴史的邸宅や別荘、壮大な館があることが特徴ともなっており、ロー (Rho) とボッラーテ (Bollate) のカステッラッツォ

(Castellazzo)、ライナーテ (Linate) にあるヴィッレ・リッタ (Ville Litta)、アレーゼ (Arese) にあるヴァレーラ (Valera)、ローにあるヴィッラ・ブルバ (Burba) 等の素晴らしい建築作品群を探索することが出来ます。必見ポイントとして忘れていけないのは、世界的にも重要な自然・文化遺産とされているマッジョーレ湖、コモ湖、ルガーノ湖、ヴァレーゼ湖といった湖での歴史遺産と風景、例えばチェルノブヴィオ (Cernobbio) のヴィッラ・エルバ (Villa Erba) のような風景を楽しむいくつものルートです。博覧会期間中の一連の並行イベントを通じて、博覧会関連事業の一部として紹介されるでしょう。(ミラノ万博公式ホームページより)

- ・大阪万博
- ・太陽の塔

EU 支部だより —大阪万博—

つい最近多くの視聴者を釘づけにした「半沢直樹」というドラマがあった。銀行マンを描いたこのドラマの舞台は大阪。そして、主人公の半沢直樹が住んでいるのが、大阪万博記念公園近くの社宅であった。夜遅く疲れ切って帰る直樹のバックにはライトアップされた太陽の塔が浮かび上がっていた。大阪万博といえば太陽の塔。大阪に来てすぐに私は、この塔を訪れたのだ。当時テレビで見ていたほどの華やかさはないが、今でもしっかりと立っているその姿は、万博の顔という重責を果たした満足感があるように私には見えた。今回、ミラノ万博では、何がシンボルとなっているのだろうか。イタリアでも日本でも、万博報道はほとんど耳にしな。しかし、多くの国の人たちが集い楽しむイベントは、やっぱりすばらしいと私は素直に感動する。大阪万博といえば太陽の塔といわれるように、ミラノ万博が食の安全や安心のシンボルとなり、多くの人々の心に刻まれるようになることを祈っている。(松原)

